

新潟のアートシーンを
もっと面白く、
もっと元気に。

NIIGATA アートリンク2024 展覧会スケジュール

このマークのある展覧会では
新潟出身作家の作品を見ることが
できます。



2012年よりスタートした美術館のネットワーク「NIIGATA アートリンク」。県立美術館と新潟市立の美術館4館が手を取り合って美術館を活性化。館を超えたさまざまな取り組みを通して美術館めぐりがもっと楽しみになるヒントを提案していきます。

新潟市美術館 (新潟)

もしも猫展

4月13日(土)～6月2日(日)

もしも猫が人であったならば？人が猫であったならば？浮世絵師・歌川国芳(1797-1861)が描いた猫を題材とした作品を中心に、江戸から明治にかけての擬人化表現の魅力を探る展覧会。136件の作品を通して、アイデアあふれる擬人化の世界をお楽しみください。



歌川国芳《猫の首面相 申酉蔵》
天保12年(1841)頃 個人蔵

遠藤彰子展

巨大画の迷宮にさまよう

6月22日(土)～8月25日(日)

画家・遠藤彰子(1947-)は、自身を取り巻く世界をテーマにしながらも、その壮大な世界観で、観るものに圧倒的な印象を残してきました。縦3m、横5mを超える巨大画をはじめ、絵の中に引き込まれるような、不思議な感覚に陥る作品の数々を紹介します。



遠藤彰子《たそがれの街》1982年 新潟市美術館蔵

※9月23日(月)より2025年7月頃まで
施設改修工事のため休館いたします。

NIIGATAアートリンク2023 トークセッションを開催しました！

新津美術館の「ユトリロ展」、近代美術館の「華麗なるパリ ベル・エポック展」にあわせ、4館の学芸員によるトークセッション「華麗なるパリの〇〇な話」を7月に新津美術館で開催しました。パリに生きた芸術家たちのエピソードや実際にパリに暮らした学芸員の体験談など、多彩なトークが繰り広げられ、参加した方にはパリに行った気分が楽しめました。



新潟市新津美術館 (新潟)

ホキ美術館名品展

究極の超写実絵画

3月20日(水・祝)～5月16日(木)

世界初の写実絵画専門の美術館、ホキ美術館。その代表的な所蔵品を中心に62点を紹介。絵画でありながら実物を見ているような、あるいは実物以上にリアリティを感じるといった驚きの写実絵画の世界をお楽しみください。



森本肇介《未来》2011年 油彩

連載完結記念 ゴールデンカムイ展

5月25日(土)～7月7日(日)

明治末期の北海道・樺太を舞台に、漫画家・野田サトル氏が描く大人気漫画「ゴールデンカムイ」。本展では、120点を超えるイラストのほかに、作中に登場した民具などの関連資料を多数展示します。



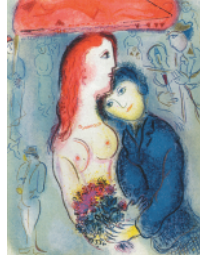
©野田サトル/集英社

シャガール展

詩情と愛—8つの版画集より

7月20日(土)～9月29日(日)

20世紀を代表する画家マルク・シャガール(1887-1985)は、2,000点以上の版画を手掛けました。本展では傑作と称される「ダフニスとクロエ」など8つの版画集を中心に、284点をお楽しみいただけます。



マルク・シャガール
《恋人たち》「サーカス
より」1967年 リト
グラフ © ADAGP,
Paris & JASPAR,
Tokyo, 2024.
Chegall® X0212

レゾナンス
共鳴、あるいは不協和音
ディソナンス
新潟市美術館と新津美術館の
両館所蔵品による

2025年1月18日(土)～3月9日(日)

改修休館中の新潟市美術館所蔵品を活用し、新津美術館所蔵品と併せて展示します。これまで展示機会の少なかった両館所蔵品を中心に紹介します。出品作家：大竹伸朗、金沢健一、ほか

新潟県立万代島美術館 (新潟)

JUNKO KOSHINO

コシノジュンコ 原点から現点

2月22日(木)～5月26日(日)

世界的ファッションデザイナーであるコシノジュンコの過去最大規模の展覧会。その創造の原点である高校時代のデッサンから、「対極」というデザインコンセプトを通じて創出した世界観、琳派や能との協演など、現在までの活動の全貌を紹介します。

ロイ・チャップマン・アンドリュースの 中央アジア探検100周年記念 化石ハンター展

～ゴビ砂漠の恐竜とヒマラヤの超大獣型～

6月25日(火)～9月23日(月・祝)

およそ100年前の1922年、アメリカ自然史博物館のロイ・チャップマン・アンドリュース(Roy Chapman Andrews, 1884-1960)が、ゴビ砂漠で数々の貴重な化石を発見し、古生物学の発展に大きく貢献しました。本展ではこれを記念して、名高い「化石ハンター(=古生物学者)」たちがゴビ砂漠やヒマラヤで発掘した恐竜や大型哺乳類の研究成果を紹介します。



展覧会メインビジュアル

古代エジプト美術館展

10月11日(金)～12月15日(日)

世界的に貴重な遺物であるミイラやミイラマスク、人型木棺、神殿の石柱、ツタンカーメンの指輪をはじめ、当時の生活様式がわかる容器や装飾品を含む約200点を展示するほか、過去100年間学術調査がほとんどなされてこなかったメイドゥム(マイドゥーム)・ピラミッドの最新調査(2022)の様子をあわせて紹介します。



ミイラマスク/
ブトレマイオス朝時代

谷川俊太郎 絵本★百貨展

2025年1月18日(土)～4月6日(日) ※予定

詩人の谷川俊太郎は1960年代から現在に至るまで、さまざまな絵描きや写真家と200冊にも及ぶ絵本を作ってきました。本展はその中から約20冊を取り上げ、絵本の原画、絵や言葉が動き出す映像、朗読や音、巨大な絵巻や書き下ろしのインスタレーション作品などを展示します。絵本の世界から飛び出した、子どもから大人まで誰もが楽しめるおもしろい展覧会です。



東京会場 展示風景 (撮影：高橋マナミ)

新潟県立近代美術館 (長岡)

ジブリパークとジブリ展

4月17日(水)～6月9日(日)

愛知県の愛・地球博記念公園内にある、スタジオジブリ作品の世界を表現した公園施設「ジブリパーク」。その制作現場を指揮した宮崎吾朗監督のこれまでの仕事と作品を振り返るとともに、監督を中心に、ジブリパークがどのように生み出されたのか、その舞台裏を紹介します。



© Studio Ghibli © Kanyada

生誕100年 山下清展 百年目の大回想

6月29日(土)～8月18日(日)

放浪の画家・山下清(1922-1971)の生誕100年を記念する大回顧展。懐かしい日本の原風景や名所を貼絵で表した代表作に加え、子供時代の鉛筆画や後年の油彩、陶磁器、ペン画などを展示し、山下清の生涯と画業を紹介いたします。



山下清《長岡の火花》1950年、貼絵
©Kiyoshi Yamashita / STEPeast 2024

日本が見たドニ | ドニの見た日本

8月27日(火)～10月20日(日)

モーリス・ドニは、19世紀末のフランスで活躍した前衛グループ「ナビ派」の中心的画家であり、後半生には建築装飾や宗教美術へと活動の場を広げて、その影響は遠く日本にも及ぼしました。ドニの画業と日本の美術との密接な関わりをたどります。



モーリス・ドニ
《若い母》1919年
国立西洋美術館蔵
松方コレクション

皇室の名宝と新潟

—皇居三の丸尚蔵館
収蔵品でたどる日本の技と美

2025年2月7日(金)～3月16日(日)

皇室に伝わった貴重な美術品を保存、調査研究、公開する施設である皇居三の丸尚蔵館の収蔵品から、近世絵画の名品や近代の油彩画・日本画、工芸作品などを展示します。新潟ゆかりの作品などを通して、皇室と新潟の関わりも紹介します。



新潟市
新津
美術館

ホキ美術館名品展 究極の超写実絵画

3月20日(水・祝)～5月16日(木)

美術館でリアルな生き物—鳥やウサギ、リス…に会える？ホキ美術館名品展ではまるで写真かと錯覚してしまうほどの「超写実絵画」をお楽しみいただけます。気配、息遣いを感じるほどにリアルな表現をお楽しみください。



五味文彦《飛行計画—南風の囁き》2013年 油彩

新潟市
美術館

もしも猫展

4月13日(土)～6月2日(日)

今も昔も私たちが魅了してやまない猫ですが、本展には蹴鞠や相撲をしたり、時には温泉に入ったりと、まるで人間のように振る舞う猫が勢ぞろい。ユーモラスで愛嬌たっぷり猫人間たちの様子にご注目です。



歌川国芳《流行猫の曲輪》天保12年(1841)版人紙

新潟市
新津
美術館

コレクション展Ⅱ 「自然と生きる」

5月25日(土)～7月7日(日)

コレクション展でもよく見ると動物が！本展で紹介する中野雅友《イヨマンテ》はアイヌ民族に伝わる重要な儀礼・熊送りを描いています。上方に描かれたフクロウは、「村を守る神(カムイ)」という意味があるとか…。



中野雅友《イヨマンテ》2017年
新潟市新津美術館蔵

新潟

こんな生き物に 出会える！

展覧会

NIIGATA アートリンク2024

美術作品には生き物がモチーフになっているものがたくさんあります。4館の展覧会の中から、その一部を紹介します。身近なかわいい動物から想像上の生き物、そして化石まで、美術館に足を運んでぜひご覧ください。



新潟県立
万代島
美術館

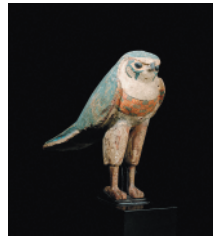
化石ハンター展 —ゴビ砂漠の恐竜とヒマラヤの超大型獣—

6月25日(火)～9月23日(月・祝)

「化石ハンター」とは、探究心に富み、抜群の行動力で貴重な化石を発掘・研究する挑戦者のこと。本展では、彼らが発見した多くの恐竜や大型哺乳類などの標本と研究成果を紹介します。「チベットケサイ」の全身骨格復元標本は世界初公開。ぜひ、会いに来てください！



チベットケサイ全身骨格復元標本 国立科学博物館蔵



《ハヤブサの小像》末期王朝—
プロトレイオス朝時代

新潟県立 万代島 美術館 古代エジプト 美術館展

10月11日(金)～12月15日(日)

古代エジプトでは多くの動物神が信仰されていましたが、これは人間にはない特別な能力が動物には備わっていると考えられていたためでした。本展では、動物を象った多様な神々の護符や神像、動物のミラらをご紹介します。



各館で授乳室、おむつ交換台等の設置、ベビーカーの貸出を行っています。詳しくはお問い合わせください。

新潟県立
近代
美術館

皇室の名宝と新潟 —皇居三の丸尚蔵館収蔵品でたどる 日本の技と美

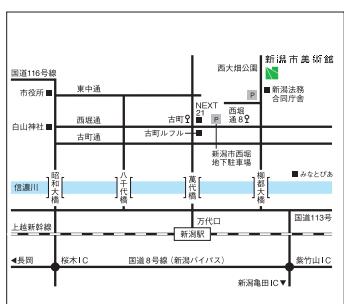
2025年2月7日(金)
～3月16日(日)

新潟県出身の日本画家・小林古径は、どんぐりを無心にほお張る愛らしいリスの姿を皇室に献上する画帖のうちの一図に描きました。ふさふさとしたしっぽにもご注目！



小林古径《栗鼠》((景雲絵巻)のうち) 皇居三の丸尚蔵館収蔵

新潟



新潟市美術館 Niigata City Art Museum

4/2～8/25は9:30～18:00
9/11～22は9:30～17:00

(観覧券の販売は閉館30分前まで)
〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9
TEL 025-223-1622
http://www.ncam.jp/



新潟市新津美術館 The Niigata Nam Art Museum

10:00～17:00(観覧券の販売は16:30まで)
〒956-0846 新潟市秋葉区蒲ヶ沢109番地1
(花と遺跡のふるさと公園内、県立植物園となり)
TEL 0250-25-1300
https://www.city.niigata.lg.jp/nam/



新潟県立万代島美術館 The Niigata Bandaijima Art Museum

10:00～18:00(観覧券の販売は17:30まで)
〒950-0078 新潟市中央区万代島5-1
(朱鷺メッセ内万代島ビル5F)
TEL 025-290-6655
https://banbi.pref.niigata.lg.jp/



新潟県立近代美術館 The Niigata Prefectural Museum of Modern Art

9:00～17:00(観覧券の販売は16:30まで)
〒940-2083 長岡市千秋3丁目278-14
TEL 0258-28-4111
https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/